

認知症サポーター キャラバン

◆認知症サポーターキャラバンでまちづくり

認知症は 85 歳以上では、4 人に 1 人といわれている、ありふれた「病気」です。現在、認知症の人は約 305 万人、平成 32 年（2020 年）には 410 万人、平成 37 年（2025 年）には 700 万人程度まで増加することが予想されています。

認知症の人は、ちょっとした手助けがあれば在宅生活を続けることが可能ですが、まだまだ偏見が残っており、本人や家族が苦しんでいることも珍しくありません。

このキャラバンは、認知症を知り地域をつくるキャンペーンの一環であり、認知症サポーターを全国で多数養成し、認知症になっても安心して暮らせるまちを目指しています。

◆認知症サポーターは認知症の人と家族への応援者

認知症サポーターにはなにかをとくべつにやってもらうものではありません。認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者になってもらいます。そのうえで、自分のできる範囲で活動してもらいます。友人や家族にその知識を伝える、隣人あるいは商店・交通機関等、まちで働く人として手助けをするなど。

サポーターには認知症を支援する「目印」のブレスレット（オレンジリング）をつけてもらいます。

◆キャラバン・メイトとキャラバン・メイト研修会

認知症サポーターを育成するためには、認知症の基礎知識を伝える講師役が必要です。この認知症サポーターキャラバンでは、サポーター講座の講師役「キャラバン・メイト」を養成し、住民とともに勉強する会から認知症に関するイベントといった比較的大きな催しまでさまざまな形でサポーター講座を開催することになっています。「キャラバン・メイト」になるには「キャラバン・メイト養成研修」を受講する必要があります。「キャラバン・メイト養成研修」は都道府県や市区町村などが全国キャラバン・メイト連絡協議会（下記参照）と共催して行うもので、一定の基準に則り行われています。

◆サポーター講座とは

サポーター講座は、1 時間～1 時間半程度で「認知症の基礎知識」を学んでもらい、認知症の正しい理解をいただく講座です。このサポーター講座を開催するのは上記のキャラバン・メイトと市町村等とが共催で行うことが基本です。

◆サポーター講座などキャラバン事業に関するお問い合わせは居住する自治体の高齢福祉課など認知症対策担当課をお願いします。

★全国キャラバン・メイト連絡協議会★

東京都新宿区市谷田町 2-7-15 近代科学社ビル 4 階 電話 03 (3266) 0551 FAX 03 (3266) 1670

e-mail caravanmate@orange.email.ne.jp <http://www.caravanmate.com>

全国キャラバン・メイト連絡協議会は、都道府県、市区町村など自治体や全国規模の企業・団体等といっしょに認知症サポーター養成講座の講師役（キャラバン・メイト）を養成します。

また、全国のキャラバン・メイトや認知症サポーターの養成数を把握し、本部機能を担っています。